



SPACE No.37

日本臨床心理身体運動学会会報第 37 号 2021 年 2 月 24 日

編集発行 日本臨床心理身体運動学会 会長 山中康裕

【第 8 期 新体制に移行して】

日本臨床心理身体運動学会の役員組織は、令和元年（2019 年）12 月から新体制となりました。今年度は学会大会がコロナの影響で延期となり、また、高橋新理事長が企画され 12 月開催予定であった【特別オンライン企画】も中止となってしまい、会員の皆様にはきちんとした紹介や挨拶が出来ていません。その代わりとして、この SPACE の紙面においてご挨拶させていただきたいと思います。

第 8 期役員組織

顧問：辻 浅夫 早稲田勝治

会長：山中康裕

副会長：中島登代子 中込四郎 鈴木 壯

理事長：高橋幸治

副理事長：名取琢自

常任理事：仁里文美 山 愛美 木村佐枝子 古谷 学（事務局担当）

理事：岸本寛史 前林清和 本間正行 森岡正芳 坂本明裕 廣瀬幸市 吉村 功 田口多恵

長岡由紀子 前田 章 松井幸太 中島郁子 齊藤 茂 山崎史恵 坂中尚哉（事務局担当）

幹事：前田 章 坂中尚哉（事務局担当）

監査：吉村 功 田口多恵

臨心身学会での学びー理事長に就任して

理事長 大阪府立大学 高橋 幸治

私は、2019 年 12 月に日本臨床心理身体運動学会の理事長に就任しました。本学会は、中島登代子先生と中込四郎先生と鈴木壯先生の三先生が、山中康裕先生をスーパーヴァイザーとして招き開催した SPACE（Sport psychologists, Psychiatrists, Athletes, Clinical psychologists, and Enlightenment）研究会が 1998 年に学会として発足した由来があります。私は、京都の鏡石で開催された SPACE 研究会で、初めて参加した覚えがあります。大広間の座敷に車座になって事例検討を 3 時間かけて行う。夜はバーベキューをして、さらに夜更けまで語り合う。そこらで気功や武術の実践が

あったりして、掌で目に見えない気の球を感じたり、投げ飛ばされたりしたり、初めて参加した私でも気兼ねする必要もなく自然に受け入れて頂いたという思い出があります。私は当時、関東で生活していましたが、帰ってきた翌日、身体中にパワーがみなぎるような感じ、堰が外されたような感じがして、午前中に普段めったに行かない公園のプールに泳ぎに行ったという不思議なことがありました。身体に影響がある会というものもそれまで体験したことのないものでした。

その後、研究会は学会として発足しました。発足会、第1回大会の準備、研修会の仕事、鹿屋での特別シンポジウムの準備、奈良女子大学での第8回大会の準備…、など若い時に体験した思い出や、最近ですと私の勤めている大阪府立大学で第18回大会を開催したこと、そこで山中先生と中島先生に「臨床の創造一個を鍛える」の語りをして頂いたこと、第22回大会で名取先生と二人でワークショップを行わせて頂いたこと等、思い出が数多くあります。事例発表も何度もさせて頂きました。会長の山中先生、前理事長の中島先生からも多大な影響を受けてきました。振り返ってみますと、私がこの学会で体験してきたもの、学んできたものというのは、学会の設立趣旨書にある「不明確で言語化の困難な、例えば身体・気・イメージ」だったように思います。思い出したエピソードがあります。2002年3月末に、私は研修会で事例発表をしました。鹿児島から関西に戻ってきたばかりで、鹿児島で出会ったケースを発表しました。私にとって思い出深い、クライアントさんに多くの大切なことを教わったケースでした。私は発表の前日から車の鍵を失くし、前日入りした会場に車を駐車したまま動かせない状態でした。発表している時に、指定討論者の山中先生にそのことをお話しすると、山中先生は「これが終わったら（鍵は）出てくるよ」と言われました。そして、研修会が終了しお別れする際にも、「もうすぐ出てくるよ」と言われました。「山中先生は、マリック（昔テレビで活躍した『超魔術師』）なのかな？」と半信半疑で私は聞いていました。しかし、その数分後に、何度も探したけどなかった、かつ入れた覚えのない小物入れから車の鍵が出てきたのでした。「なんじゃ、こりゃ？」とその不思議さを直接的に体験しました。そして様々なことを考えました。今では、私の周りには、沢山の小人（こびと）がいて、いい具合に物を隠してくれたり、出してくれるようになりました。よく物がなくなります。でも「小人は無意味なことはしない」と信じているようなところがあります。このように、身体で味わう、言語化困難な、論理的思考とは異なる、人の心の不思議さ、面白さ、を数多く本学会では体験、体感させてもらってきた、という思い出が私にはあります。頭で理解すること、理解して考えること、よりも、その時その場で自分に起こった、身体で味わったことに心が動いたり、あとで「どういうことだったんだろう？」と考えたり、そういう学びがたくさんあったように思います。そして、このようなことは貴重な体験として残ります。

願わくば、これからも日本臨床心理身体運動学会は、このような不思議さや興味深さを味わえる、明日からの活動に勇気やヒントがもらえる、人の全体性に働きかける学会でありたい、という思いがあります。私は、未熟者ですので、そのために多くの先生方のお力をお借りしたいと思っています。また、昨年から大きな影響力を発揮している新型コロナウイルスは、我々の生き方になんらかの警鐘を鳴らしている現象のようにも思います。このような中で、学会としてどのようなことをしていくのか、考えたいと思います。そして、会員の皆様とご一緒させていただき、実現させていきたい、と考えています。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新しい時代にむけて

副理事長 京都文教大学 名取琢自

2019年は本学会の歴史において、とても大きな節目となりました。学会のルーツであるSPA

CEの会から一貫して本会を束ね、支え、行くべき方向を身をもってお示しになってきた中島登代子理事長が後進に席を譲られたことは、少しずつこころの準備をしてきたことではありますが、言葉に尽くせないほどのインパクトをもたらす出来事でした。この会を文字通り育て、見守り、ご尽力いただいたことに感謝するとともに、ここからが学会として本会が存続し、発展していくことができるかどうかの正念場を迎えていることに身のすくむ思いがしております。

そのなかで、高橋幸治先生が新理事長の重責を引き受けて下さったことに、とても暖かな光明を得た実感があります。高橋先生の爽やかかつ暖かいお人柄に私はずいぶん助けられてきましたし、この会への献身にも感銘を受け続けています。私は副理事長を仰せつかりました。微力ながら、高橋新理事長とともに、学会の運営が円滑に維持できるよう、努力いたします。

大きな変化はありましたが、会長の山中康裕先生がこの会の誕生から現在まで、変わらずにご指導下さっていること、創設時からの「柱」である中込四郎先生、鈴木壯先生が副会長としてご尽力いただいているおかげで、変化への不安よりも伝統への信頼と安心感に守られています。そして幸いにも、中島登代子先生は副会長のお一人として、引き続き本学会を見守り、導いて下さることになりました。この恵まれた環境のなかで、心理、身体、運動の垣根を越え、全体を「こころ」現象として包括して探求する本会のユニークな活動が更に根づき、実りをもたらしてくれるよう、前に進んでいくことを願っています。

と、普通であればここまでご挨拶とするところですが、ご存じのように、私たちは2020年からもう一つ大きな「節目」に突入しました。新型コロナウイルスの地球規模の感染拡大に見舞われ、これまで当たり前とっていた人と人との距離や移動、対面コミュニケーションのあり方が突然かつ大規模に見直しを迫られ、交通手段の発展にあわせて進んで来た「グローバル」化への動きも物理的に抑制されることとなりました。本学会も講習会・研修会のみならず年次大会の開催も見合わせざるを得なくなり、「凍結」状況が続いています。準備に携わった方々、参加を心待ちにしておられた皆様にはどれほどくやしく残念な思いをされたか、ご心痛いかばかりかとお察しいたします。感染対策や医療的ケアの手段を整えばこの事態はやがて収束することと思われませんが、この未曾有の難局から何を学び伝え残していくかについてもしっかりと向き合っていかなければならないと感じています。

大きな和室で集まり、事例検討を通しての学びを重ねてきた本会のルーツが懐かしく思い出されます。そこに参加する機会に恵まれ、その空気を実感させてもらった一員として、お役に立てればうれしく思います。お力添え、どうぞよろしく願いいたします。

常任理事に就任して

京都先端科学大学 山 愛美

この度、常任理事の任を仰せつかさり、身の引き締まる思いです。振り返ると何かに導かれるようにして、河合隼雄先生と山中康裕先生の元で心理療法、深層心理学を学び始めました。私の「原点」は常にそこにあります。当時は、今日のように臨床心理士や公認心理師といった資格がある時代でもなく、ただひたすら自分自身が興味深いと思うこと、心惹かれることを求めて来て今日に至っているような気がします。もちろん心理療法に関しては、いろいろなことがありました。特にここ10年余年は、欧米に向けて自分の考えを発信したり、中国や台湾でワークショップやレクチャをする機会も増えてきました。そういった経験も踏まえ、心理療法について、ひいては生きるということについて、問い続けたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

今期から広報担当として、学会誌 SPACE の発行に関わらせていただくことになりました。これまでも、理事や常任理事のお仕事はさせて頂いていましたが、学会や研修会の参加以外には、会議に出るくらいで、あまり直接的に学会の運営に携わっている、という感じではなかったのですが、このお仕事をすることになって、学会がより自分に近くなったように感じています。

この学会は、年次大会でも研修会でも、学会としては唯一、3時間のカンファレンスを行い、クライアントを深く理解するとともに、クライアントとともにあるということとはどのようなことであるのかを考えることのできる学会だと思います。それは学会となる前の SPACE 研究会の頃から変わっていません。

世の中が大きく変わっていく中で、ここは変わらずにあり続ける、というのは非常に難しいことで、なかなか出来ることではありません。でもそれは根本として何が大切であるのか、何を大切にしようとするのかに掛かっているのではないのでしょうか。先生方が大切にしてこられたものをこの学会において継承し続けていくことの一端を担えればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

平成 30 年度 事業報告

【学会大会】

- ・第 21 回大会 平成 30 年 12 月 8 日（土）、9 日（日）立命館大学 衣笠キャンパス（京都府京都市北区）

【学会研修会】

- ・第 61 回 平成 30 年 6 月 10 日（日） 浜松市福祉交流センター（静岡県浜松市）
- ・第 62 回 平成 30 年 9 月 16 日（日） 国立大学法人お茶の水女子大学（東京都文京区）
- ・第 63 回 平成 31 年 3 月 17 日（日） 創元社ビル（大阪市中央区）

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・第 32 回 平成 30 年 6 月 10 日（日） 浜松市福祉交流センター（静岡県浜松市）
- ・第 33 回 平成 30 年 9 月 16 日（日） 国立大学法人お茶の水女子大学（東京都文京区）
- ・第 34 回 平成 31 年 3 月 17 日（日） 創元社ビル（大阪市中央区）

※学会研修会および資格講習会の非会員参加について

前年度に引き続き、より多くの非会員の参加を募るため、以下の参加資格を設け、非会員の参加募集をおこなっている。

[参加資格] ①臨床心理士有資格者 ②臨床心理士資格養成指定大学院生 ③正会員の推薦を受けた者

【常任理事会】

- ・第 1 回 平成 30 年 6 月 10 日（日） 浜松市福祉交流センター（静岡県浜松市）
- ・第 2 回 平成 30 年 9 月 16 日（日） 国立大学法人お茶の水女子大学（東京都文京区）
- ・第 3 回 平成 30 年 12 月 7 日（金） 京都ガーデンパレスホテル（京都府京都市下京区）
- ・第 4 回 平成 31 年 3 月 17 日（日） 創元社ビル（大阪市中央区）

【理事会】

- ・平成 30 年度理事会 平成 30 年 12 月 8 日（土） 立命館大学 衣笠キャンパス（京都府京都市北区）

【総会】

- ・平成 30 年度総会 平成 30 年 12 月 9 日（日） 立命館大学 衣笠キャンパス（京都府京都市北区）

平成31年(令和元年)度 事業計画

【学会大会】

- ・第22回大会 新潟医療福祉大学
令和元年11月30日(土)、12月1日(日) ガレソンホール(メイン会場)・新潟第一ホテル(サブ会場)
(新潟県新潟市中央区)

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・第21巻第1号 令和元年12月発刊予定
- ・第22巻第1号 令和2年3月発刊予定

【会報 SPACE】

- ・No.36 令和元年6月25日発行

【学会研修会】

- ・第64回 令和元年6月9日(日) 浜松市子育て情報センター(静岡県浜松市)
- ・第65回 令和元年9月16日(月・祝) 新潟第一ホテル(新潟県新潟市中央区)
- ・第66回 令和2年3月15日(日) 予定 京都文教大学 サテライト教室
キャンパスプラザ京都(京都府京都市下京区)

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・第35回 令和元年6月9日(日) 浜松市子育て情報センター(静岡県浜松市)
- ・第36回 令和元年9月16日(月・祝) 新潟第一ホテル(新潟県新潟市中央区)
- ・第37回 令和2年3月15日(日) 京都文教大学 サテライト教室
キャンパスプラザ京都(京都府京都市下京区)

※前年度までと同様、より多くの非会員の参加募集をおこなっている。

【常任理事会】

- ・第1回 令和元年6月9日(日) 浜松市子育て情報センター(静岡県浜松市)
- ・第2回 令和元年9月16日(月・祝) 新潟第一ホテル(新潟県新潟市中央区)
- ・第3回 令和元年11月29日(金) ホテルサンルート新潟(新潟県新潟市中央区)
- ・第4回 令和2年3月15日(日) キャンパスプラザ京都(京都府京都市下京区)

【理事会】

- ・令和元年度理事会 令和元年11月30日(土) 新潟第一ホテル(新潟県新潟市中央区)

【総会】

- ・令和元年度総会 令和元年12月1日(日) ガレソンホール(新潟県新潟市中央区)

日本臨床心理身体運動学会 平成 30 年度決算報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

<収入の部>

費 目	平成 30 年度 予算	平成 30 年度 決算
入会金	100,000	100,000
年会費	1,767,000	1,779,000
会費収入小計	1,867,000	1,879,000
研修会参加費	480,000	504,000
研修会参加費収入小計	480,000	504,000
講習会参加費	480,000	513,000
審査料(新規・移行)	20,000	30,000
登録料(新規・更新・移行)	450,000	480,000
課程認定	39,000	39,000
課程認定料	110,000	100,000
受取利息	0	33
資格認定費収入小計	1,089,000	1,162,033
紀要購読料	9,440	9,440
バックナンバー売上	4,000	0
出版事業収入小計	13,440	9,440
雑収入	50,000	200,013
その他収入小計	50,000	200,013
収入の部 小計	3,499,440	3,754,486
前年度より繰越	4,606,761	4,606,761
収入の部 合計	8,106,201	8,361,247

<支出の部>

費 目	平成 30 年度 予算	平成 30 年度 決算
会報(SPACE)制作費	10,000	0
紀要制作費	600,000	0
紀要発送費	30,000	27,815
編集局業務委託費	475,200	216,000
通信費	20,000	0
学会誌・編集委員会小計	1,135,200	243,815
大会援助金	200,000	200,000
会場費	60,000	47,368
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	15,000	9,615
研修委員会小計	315,000	296,983
講師謝礼	200,000	180,000
通信費	20,000	3,754
資格認定費(カード代)	45,000	11,340
雑費	10,000	0
資格認定委員会小計	275,000	195,094
通信費	100,000	100,401
印刷費	5,000	0
備品・消耗品費	40,000	21,321
会議費	100,000	104,000
交通・宿泊費	100,000	68,000
倉庫代	38,880	38,880
慶弔費	20,000	7,000
事務局業務委託費	698,075	698,075
雑費	10,000	7,174
事務局小計	1,111,955	1,044,851
ホームページ維持費	7,000	0
委員会運営費	10,000	0
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	10,000	0
支出の部 小計	3,364,155	2,280,743
次年度へ繰越	4,742,046	6,080,504
支出の部 合計	8,106,201	8,361,247

監査報告

平成 30 年度(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および用途を正當に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

令和
平成 元 年 7 月 23 日

監事 吉村 功 

監事 木村 千代子 

日本臨床心理身体運動学会 平成 31 年度・令和元年度予算
(平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

＜収入の部＞

費 目	平成 30 年度 決算	平成 31 年・令 和元年度 予算
入会金	100,000	100,000
年会費	1,779,000	1,779,000
会費収入小計	1,879,000	1,879,000
研修会参加費	504,000	480,000
研修会参加費収入小計	504,000	480,000
講習会参加費	513,000	480,000
審査料(新規・移行)	30,000	30,000
登録料(新規・更新・移行)	480,000	240,000
課程認定	39,000	0
課程認定料	100,000	100,000
受取利息	33	0
資格認定費収入小計	1,162,033	850,000
紀要購読料	9,440	9,440
バックナンバー売上	0	10,000
出版事業収入小計	9,440	19,440
雑収入	200,013	100,000
その他収入小計	200,013	100,000
収入の部 小計	3,754,483	3,328,440
前年度より繰越	4,606,761	6,080,504
収入の部 合計	8,361,247	9,408,944

＜支出の部＞

費 目	平成 30 年度 決算	平成 31 年・令 和元年度 予算
会報(SPACE)製作費	0	10,000
紀要製作費	0	957,000
紀要発送費	273,815	60,000
編集局業務委託費	216,000	194,400
通信費	0	15,000
学会誌・編集委員会小計	243,815	1,236,400
大会援助金	200,000	200,000
会場費	47,368	60,000
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	9,615	15,000
研修委員会小計	296,983	315,000
講師謝礼	180,000	200,000
通信費	3,754	10,000
資格認定費(カード代)	11,340	20,000
雑費	0	10,000
資格認定委員会小計	195,094	240,000
通信費	100,401	100,000
印刷費	0	5,000
備品・消耗品費	21,321	40,000
会議費	104,000	100,000
交通・宿泊費	68,000	100,000
倉庫代	38,880	86,869
慶弔費	7,000	20,000
事務局業務委託費	698,075	693,360
雑費	7,174	10,000
事務局小計	1,044,851	1,155,229
ホームページ維持費	0	7,000
委員会運営費	0	10,000
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	0	10,000
支出の部 小計	2,280,743	3,473,629
次年度へ繰越	6,080,504	5,935,315
支出の部 合計	8,361,247	9,408,944

事務局より

○年会費納入のお願い

年会費を未納の方は、至急下記口座に入金してください。また、納入状況につきましては、事務局までお問い合わせください。

正会員 10,000 円 一般会員 9,000 円 準会員 7,000 円

<振込先>

送金口座

ゆうちょ銀行

1 4 4 6 0 - 2 9 2 3 1 2 1 1

日本臨床心理身体運動学会

銀行対応

店 名：四四八（よんよんはち）

店 番：4 4 8

預金種目：普通預金

口座番号：2 9 2 3 1 2 1

○年会費自動払込の手続きについて

年会費の自動払込手続きは、学会総会における決議事項であり、全会員にお願いしています。手続き未完了の方は自動払込利用申込書をご提出ください。申込書をお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。

○住所・所属等の変更連絡のお願い

住所や所属等に変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。

○メールアドレス登録のお願い

事務局よりご連絡を差し上げる際に使用いたしますので、メールアドレスのご登録がお済みでない方は、下記事務局アドレスまでご連絡ください。

○退会申請について

退会をご希望の方は、年会費を完納した上で該当年度の **3月31日まで** に書面の退会届（**署名・捺印要**）を事務局宛にご郵送ください。3月末以降の申請となった場合、翌年度末退会となりますのであらかじめご了承ください。※退会届の様式は自由です。

例)

令和3年3月31日までに退会届を郵送→令和2年度末退会

令和3年3月31日以降に退会届を郵送→令和3年度末退会

○連絡先

日本臨床心理身体運動学会事務局

〒600-8449 京都市下京区新町通松原下ル富永町 107-1 株式会社 木立の文庫内

TEL：075-585-5277

FAX：075-320-3664

E-mail：office@rinsinsin.jp

広報後記

SPACE の 37 号をお届けします。今回は新体制の紹介号となります。現在はまだコロナの只中ですが、それを乗り越え、また皆様と学会大会や研修会の場でお会いし、共に研鑽を深められればと思います。その時の中で、変わりゆくもの、守り続けるもの、残るもの、失われるもの、などさまざまなものをどう記憶するのか、どう記録していくのか、を考えて行ければと思います。

皆様の積極的な投稿をお待ちしています。

(仁里)

SPACE No. 37

日本臨床心理身体運動学会 会報第 37 号

2021 年 2 月 24 日発行

日本臨床心理身体運動学会

会 長 山中康裕

編集責任 仁里文美

事務局 〒600-8449

京都市下京区新町通松原下ル富永町 107-1

株式会社 木立の文庫内

TEL : 075-585-5277

FAX : 075-320-3664

E-mail : office@rinsinsin.jp